床暖房対応品の充実へ

1×6製品の販売も開始

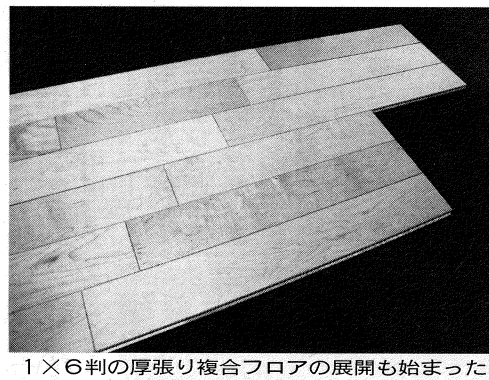
ウッズ・マイスター

ウッズ・マイスター（東京都、二木浩一郎社長）は東京と北関東に2拠点の物流倉庫を設け、ムクと複合、3層製品を含めた同社ラインアップのうち約40樹種（複合、3層は表面樹種）、約350品目のうち半数を在庫する。在庫量は常時2万平方㍍で、幅広いニーズに応じられる即納体制を整備している。

床暖房対応製品に力を入れているのが同社の特徴で、ユニの在庫品はほぼ全量が床暖房の環境に用いることができる。ムクの床暖房対応品は15樹種で、ウレタン、オイル、無塗装やサイズでバリエーションを設けて35品目を用意する。樹種はナラ、カバ、クリ、タモ、チーク、花林、竹、ホワイトアッシュ、アメリカンブラックチェリー、ブラックウォールナット、メープル、サクラ、ローズウッド、桧など。

近年の幅広床暖房のニーズに対応して、2㍉単板厚張りの複合シリーズも用意する。カバ合板基材で目玉のサイズは厚さ12×幅120×長さ909㍉。一部樹種には直張り仕様も設ける。釘打ち用の表面樹種にはブビンガ、サペリ、アッシュなども取り入れた。ナラ、ブラックウォールナットに加えこのほどチーク、花林を追加した。

またムクフローリング主体の輸入販売事業者としては珍しく、12㍉厚1×6判（303×1818㍉）サイズの複合フロア展開も9月から始める。ナラ、ハードメープル、ブラックウォールナット、ブラックチェリー、ミャンマーチークの厚単板を展開する。国内の複合JAS認定工場へのリクエストにより実現した。短手方向の3ピースにそれぞれ面取りと面なし加工を施し、ピース継ぎ目の溝加工によって実現したムクや1枚物の複合製品と同等の張り上がりの良さや、トレンドを意識したマット塗装を特徴とする。



1×6判の厚張り複合フロアの展開も始まった

中国を中心に、インドネシア、ラオス、ベトナムに提携工場を持ち、最終製品化まで同社がかかわることで品質を確保することを信条とする。販路は木建流通を主体とするが、インターネットからの注文にも応じる。